

マイコプラズマ肺炎 の基礎知識



乾いた咳が止まらない…

その咳、ただの風邪ではないかもしれません！



マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。



流行時期

年間を通じて発生していますが、特に秋から冬にかけて増加する傾向があります。



かかりやすい世代

毎年報告される患者数の約80%が14歳以下です。特に若い世代がかかりやすい病気ですが、大人がかかることもあります。

約80%が
14歳以下



飛沫感染



接触感染



主な感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」です。

潜伏期間

潜伏期間は2～3週間程度と長く、感染に気付かないまま周囲へ広げてしまう可能性があります。



主な症状



乾いた咳



だるさ



頭痛



発熱

予防方法



手洗い・うがい



マスクの着用



消毒

有効なワクチンはないため、基本的な感染対策が重要です



多くの人は軽い症状で済みますが、まれに肺炎となり重症化することもあります。

咳が長引くなどの症状がある時は、

早めに医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。

